



各務原国際協会 会報

KIA TIMES 2011年3月号

サンタがまちにやってきた！サンタクロース交流事業（12/1～8）

姉妹教育交流先である米国セリトス市のロータリークラブ会員ジェットスワートさんとフランシス夫人が来日し、サンタクロースに扮して保育所を訪問して児童にクリスマスプレゼントを配りました。本物の白いひげをたくわえた大きなスワートさんと優しい笑顔のフランシス夫人は、大人気で園児たちも大喜びでした。



また、複合福祉施設「福祉の里」や市内のブラジル人学校「ノヴァエタッパ」も訪問し、大歓迎されました。当事業は、各務原ロータリークラブ・各務原中央ロータリークラブ・各務原かかみのロータリークラブの皆様にご支援をいただきました。誠にありがとうございました。

Year End Party 開催！（12/5）

2年ぶりの開催となったイヤーエンドパーティーは、イギリス人落語家のダイアン吉日さんをお招きしての落語と、子どもから大人まで楽しめるダイアンさんのバルーンショーを楽しみました。サンタクロースも飛び入り参加し、子供たちにクリスマスプレゼントを配りました。また、ビンゴゲームやクリスマスソングを聞きながらバイキング料理を堪能して、参加者の親睦を深めました。（参加者 64名）



第24回中高生英語スピーチコンテスト 開催（1/15）

各務原市と各務原市教育委員会が後援で、毎年恒例の中高生英語スピーチコンテストを開催しました。参加者の皆さんが直前まで一生懸命練習する姿が印象的でした。皆さんが練習の成果を存分に発揮し、表現力豊かな素晴らしいスピーチを披露しました。審査員の先生方は、素晴らしいスピーチの数々に賞を決めるのがとても難しかったとコメントされました。



成績は以下の通りです。（発表者 17名）

＜中学生の部＞	金賞	足立蒼依	銀賞	松本雄太、塚原麻理恵	銅賞	松葉百香、渡辺有記
＜高校生の部＞	金賞	宮本なつみ	銀賞	五島彩史	銅賞	酒井大地

英語絵本の読み聞かせ会 開催（1/21、1/25、2/15、2/18）

恒例となってきました英語絵本の読み聞かせ会を今年も行っています。今年から市総合福祉会館に加えて、陵南福祉センターでも開催しています。市産業文化センター 1 階の国際交流サロンにある「アメリカンシェルフ」の英語絵本の読み聞かせ会を親子で楽しむことができます。今後も広報紙や会報などでご案内いたしますので、お子様と一緒に多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。（参加者 4 日間開催合計 85 名）

国際交流料理講座 ペルー料理（1/30）

市内在住のペルー人アリシア・カミサト・オシロさんを講師にお招きしてペルーの家庭料理を作りました。タコと白身魚、玉ねぎをたっぷりのレモンとコリアンダーでいただく魚介サラダ「セビチェ」と、ペルー風炊き込みご飯「アロス・コン・ポイヨ」を作りました。ペルー料理に欠かせない「コリアンダー」は日本の醤油のようなもの、ペルーの北部と南部で材料や味が違う、などのお話をしながら料理を楽しみました。アリシアさんが作ったポテトケーキ「カウサ」も取り分けて 3 品の料理をいただきました。（参加者 18 名）



災害時語学サポーター研修（2/6、2/27）

関市で災害時における外国人住民支援を円滑に行うための災害時語学サポーター研修を行いました。座学研修と実施訓練を行い、自治体や国際協会、ボランティアが互いに連携・協働しながら災害時に必要な体制整備や事前準備事項を明らかにして、外国人サポーターと日本人サポーターが共に訓練を行いました。

（主催：（財）岐阜県国際交流センター、共催：関市国際交流協会・各務原国際協会、協力：岐阜県、関市、各務原市、（特活）ブラジル友の会 参加者：6 日 41 名、27 日 90 名）



第 3 回外国籍市民日本語スピーチコンテスト 開催（2/19）

外国籍市民の日本語能力の向上支援、多文化共生社会を担う外国籍市民の育成のため、小中高生を対象に日本語スピーチコンテストを開催しました。将来の夢や学校生活、家族との絆など日本での生活についての思いが語られました。成績は以下の通りです。

（後援：各務原市・各務原市教育委員会 発表者 16 名）

＜児童(小学生)の部＞ 金賞 南ナオミ 銀賞 朴敝然(パク ソヨン)
＜生徒(中高生)の部＞ 金賞 渡辺タリッサミュキ 銀賞 河瀬きよみ
＜ 全 部 門 ＞ 会長賞 福田明美



銅賞 島袋ユリ

銅賞 島袋ナルミ

《お知らせ》

各務原市国際交流員として約4年半、各務原の国際事業に貢献したダスティン・グスタフソン市国際交流員が平成23年3月末に退職し、新天地で新たな活躍をすることとなりました。ダスティン市国際交流員から皆様へのメッセージです！（→日本文は裏面参照）

ダスティン市国際交流員からのお便り 「多文化共生サポーターへ」

(英文)

Hello everyone. This is Dustin from the KIA office. I regret to inform you all that I'll be resigning from my position here at the end of this March. I have to say that it's been an excellent four and a half years and I'm truly sad to leave. We've shared a lot of good times together such as English classes, bus tours, the drum circle, cooking classes and more. I wouldn't trade those memories for anything.



One of my favorite memories during my time with KIA was the Japanese language classes. For about two years I helped out as a volunteer Japanese teacher. That's right, an American teaching Japanese to other foreigners in Japan. Sound strange? Maybe, but it was a lot of fun to get to know city residents from Brazil, China, Nepal and more. It was also rewarding to see them progress and enjoy their time in Japan more.

I'd like to make a request to all of you. Please be a supporter of all the foreign residents in Kakamigahara. In this city of 150,000 residents, there are only 3,500 of us foreigners (2.3%). Because there are few of us, the average person may not ever meet one of us. That doesn't mean we don't need your support. Living in a foreign country has many advantages but it also can be stressful and lonely. If you see any Chinese, Brazilians or any other people, won't you please talk to them and offer your support? Since you all have participated in various KIA events, you understand more about foreign cultures than the average Kakamigaharan. You all would make excellent ambassadors to the world and to the foreign residents of our city. Please help make Japan a more open and more rich nation for everyone.



Just because I'm leaving this position it doesn't mean I'm leaving Kakamigahara for good. I'll still be around so I hope to see you at some KIA events in the future. Until next time!

Dustin Gustafson

(日本文)

皆様こんにちは。各務原国際協会事務局のダスティンです。この3月末をもって退職することになりました。この4年間、皆様とお付き合いでき本当に良かったです。数々の交流イベントで一緒に作った思い出は私の一生の宝物です。振り返ってみると英会話教室をはじめ、バスツアー、ドラムサークル、スピーチコンテスト、料理講座、ホッケー大会など、他の職場では体験できない多様な仕事でした。



特に「参加してよかった」と言う各務原国際協会の事業を一つ紹介します。各務原国際協会がボランティア講師による日本語講座を実施しておりますが、国際協会の一員として私も2年ほど講師をしました。アメリカ人が日本で他の外国人に日本語を教えるというのは、少し意外かもしれませんね。しかし、ブラジル、ネパール、中国など様々な国の方と知り合うことも、彼らの日本語能力を少しでも向上させることも大変楽しく、有意義な時間でした。

皆様に一つお願いがあります。「多文化共生サポーター」になってください。各務原市民15万人中、外国人は3500人です(2.3%)。比較的少ないため、普段、接する機会がなかなかないかもしれません。しかし、少ないからといって、サポーターが要らないわけではありません。母国を離れて暮らす不慣れなことや不安がたくさんあります。中国人やブラジル人など国籍を問わず、外国人に接することがありましたら話しかけてあげたり、手伝ってあげたりしましょう。各務原国際協会の講座やイベントなどを通して外国の文化がよくわかっておられる皆様、一般市民と外国人との架け橋にもなってください。会員一同、多文化共生サポーターとし、お互いにより国際的な、より豊かな社会を築いて参りましょう。



さて退職するからと言って各務原市を離れるわけではありませんので、決してこれで皆様とお別れではありません。今後の国際協会のイベントで再会することを楽しみにしております。



ダスティン・グスタフソン

発行・お問い合わせ

<各務原国際協会 事務局> (E-mail) kia@city.kakamigahara.gifu.jp (HP) www.kia1986.org
各務原市 観光文化課 交流係内 (市産業文化センター 6階にあります)
Tel (058)383-1426 Fax (058)389-0765